

1. 代宿トンネル

施設名・所在地・管理者名等

施設名・所在地・管理者名等				施設ID	35.45683,140.02247
施設名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.456833
				経度	140.022472
ダイジェクトンネル 代宿トンネル	市道代宿神納線	千葉県袖ヶ浦市代宿			
管理者名	定期点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市役所都市建設部土木管理課	2020.8.20	有	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)定期点検者 筒井 勝美 定期点検責任者 栗田 啓次

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号, 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定 実施年月日
カルバート本体	Ⅱ	ひびわれ、剥離・鉄筋露出	写真1,2			
継手	Ⅱ	その他(目地材脱落)	写真3			
ウイング	Ⅱ	ひびわれ	写真4			
その他	Ⅲ	路面の凹凸、照明施設腐食	写真5、6			

施設毎の健全性の診断(対策区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	頂版やウイングにひびわれや鉄筋露出が見られ、継手部に目地材の脱落が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 照明装置の変状は第三者被害のおそれがあるため早期に対策が必要。舗装の凹凸は維持工事に対応が望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

建設年次	延長	総幅員
1988年	57.5m	19.6m
構造形式		
場所打ち横断ボックスカルバート		

起点側



終点側



※建設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(変状状況)

○判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

カルバート本体(頂版)【判定区分:Ⅱ】 写真-1  剥離・鉄筋露出(豆板) 02ブロック頂版(Cr01)	カルバート本体(隔壁)【判定区分:Ⅱ】 写真-2  ひびわれ 02ブロック頂版(Cr01)
継手【判定区分:Ⅱ】 写真-3  その他(目地材脱落) 01ブロック 遊間部(0202)	ウイング【判定区分:Ⅱ】 写真-4  ひびわれ 漏水・遊離石灰 03ブロック ウイング(0101)

状況写真(変状状況)
○判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(舗装)【判定区分:Ⅱ】	その他(照明設備)【判定区分:Ⅲ】
 写真-5 路面の凹凸02ブロック 舗装(0201)	 写真-6 腐食、変形・欠損02ブロック 照明施設(0101)

2. 中ノ台カルバート

施設名・所在地・管理者名等

施設名・所在地・管理者名等				施設ID	35.42885,139.97070	
施設名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.428847	
				経度	139.970704	
ナカダイカルバート 中ノ台カルバート	市道 神納24号線	千葉県袖ヶ浦市神納3261番地2				
管理者名	定期点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市役所都市建設部土木管理課	2020.8.25	無	一般道	その他	無	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)定期点検者 筒井 勝美 定期点検責任者 栗田 啓次

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号, 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定 実施年月日
カルバート本体	Ⅱ	ひびわれその他(落書き)	写真1			
継手	Ⅰ					
ウイング	Ⅰ					
その他	Ⅱ	落書き、ゆるみ・脱落、舗装の異常、土砂詰まり	写真2、3、4、5			

施設毎の健全性の診断(対策区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	側壁のひびわれは予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 側壁の落書き、防護柵取付ボルトのゆるみ、排水管の土砂詰まりは維持工事により対策が望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

建設年次	延長	総幅員
不明	24m	5.0m
構造形式		
場所打ち横断ボックスカルバート		

起点側



※建設年次が不明の場合は「不明」と記入する。